

特集 若者を地域建設業へ



建設業における将来の担い手確保は、喫緊の課題と言える。どのようにしたら、イマドキの若者、が建設業界に入職したくなるのか。県検査指導課の磯崎南波技師による司会のもと、下館工業高校進路指導部の戸頃志穂先生をはじめ、同校卒業生で県水戸土木事務所平賀鮎子係長、同高を卒業した県高速度道路対策室の海野春奈技師、県建設業協会筑西支部の小薬拓巳支部長といった5人による座談会を6月2日に開催。さまざまな意見を交わし、若者を地域建設業に呼び込むためのきっかけを探した。

磯崎 皆さんは、なぜ建設業に関わる仕事を選ばれたのでしょうか

平賀 ものづくりが好きで、家で父のDIYを見ていました。専門的なことを学びたくて下館工業高校に進学しました。

海野 父が大工で、幼稚園の頃から現場に連れて行ってくれました。子どもの頃の夢は大工。下館工業高校2年次の担任の先生が、県職員で土木採用があると教えてくれて、今の仕事に携わりました。

磯崎 小学生の時に東日本大震災を経験し、安心なまちをつくるのができたらいいなと思うようになりました。高校生になって進路を考えた時も、建設業に関わりたいと思いました。

小薬 家が建設の仕事をしていたので、小さい時から会社の人たちを見て育ち、祖父からも継ぐように言われ、何の迷いもなく選びました。ところが、大学生の時に勉強が全く面白くなく、挫折しかけたことを覚えています。

戸頃 サラリーマンの家庭だったので、高校進学がきっかけです。座学より技術の科目が得意で、兄が工業高校に通っていたこともあり、下館工高を選択しました。

磯崎 学校から見て、生徒が建設業に入職する上でネックになっていると思うことはありますか

戸頃 建設工学科から建設業界に入る生徒は、少なくなっています。カリキュラムの都合で、現場見学が1年生で1回、2年生でも2回くらいしかありません。そのため、自身が働くイメージが湧きにくいのかもかもしれません。

平賀 確かに、自分が就職したときの姿を想像できないと不安ですよね。



測量実習を行う下館工業高校生

就職した姿 想像できる業界に

～工業高校と地域建設業との対話～ 県土木部×茨建協筑西支部×下館工業高校

小薬 業界を知ってもらうには、インターンシップが有効だと思います。受け入れ先でも、生徒たちが建設業の仕事イメージしやすい対応をこころがけた方がいいかもしれません。

磯崎 小薬支部長は、建設業に入った若い人に対して、どういったことを身に付けてほしいですか。

小薬 新人には、自身の経験から、1年目は辛い。何をやっているか分からない。それでも霧がパッと晴れるように分かる時が来る。それまでは頑張れと伝えていきます。自分が向いていないというのは、仕事がかかったときに言葉だと伝えていきます。

戸頃 どんな職業でも最初は辛い。最初の3年間を我慢すれば、提案したり、課題を見つけたりできます。生徒たちには、技術者として一人前になって学校に会いさつにきてほしいです。

平賀 最初は、分からないことが分からない。人が少ない職場だと聞けるような環境もない。放っておくとさらに分からなくなる。経験を積み重ねることがあるので、積み重ねが大事です。

磯崎 私も分からないことが多くて、まだまだ難しい。一方で、ICTなど新しい技術が開発されていて、カッコいいと思うものも沢山あります。少しでも多くの人に見てもらい、カッコいいと思ってもらえる業界になったらいいと思います。

戸頃 建設業の若い人たちは、是非続けてほしい。若い人が入ってくると、活気が出るし、後輩も入りやすくなります。建設業は若い人が少ないイメージがありますが、これを払拭していきたいですね。

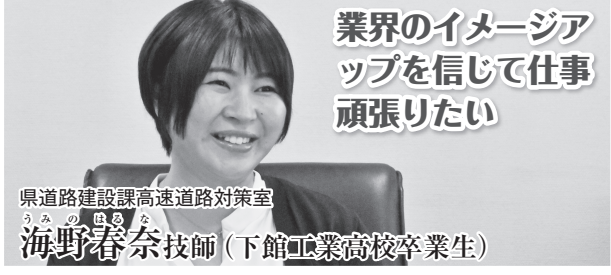
小薬 建設業は、色々な職種の人がまとまって一つのものを作り上げるため、コミュニケーションが大切。災害時にはICT技術なども使えないため、アナログに立ち返らなければなりません。技術者の力を伸ばしていかないと、建設業が立ち行かなくなる。いいものを作り上げ、技術者を育てるにはコミュニケーションの力はとても重要だと伝えていきます。

海野 子ども達が建設業に良いイメージを持ってくれないと業界に入ってきてくれません。私のように小さい時から建設業に触れる機会が身近にあれば、イメージアップにつながるはず。業界イメージが良くなっていくと信じて仕事を頑張っていきたいです。

磯崎 これからも皆さんと連携して業界を盛り上げていけたらと思います。本日はありがとうございました。



県水戸土木事務所道路管理課 平賀鮎子係長（下館工業高校卒業生）



県道路建設課高速度道路対策室 海野春奈技師（下館工業高校卒業生）



県検査指導課 磯崎南波技師



下館工業高等学校進路指導部 戸頃志穂先生



県建設業協会筑西支部 小薬拓巳支部長（現小薬建設代表取締役）



多岐にわたるテーマを話し合った

一般社団法人 茨城県建設業協会筑西支部

筑西市二木成806-2 電話 0296(22)2538(代) F A X 0296(25)0069

支部長 小薬 拓巳(小薬建設)	副支部長 白田 唯雄(白田工建(株))	副支部長 小貫 勝重(小貫建設(株))	副支部長 大内 康意(大内建設(株))
アキラ建設(株) アロウズ建設(株) 飯田建設(株) 飯田建設興業(株) 石島建設(株)	石田道路(株) 江田建設工業(株) 榎戸工務店(株) 大内建設(株) 小倉工務店(株)	小貫建設(株) 川田建材工業(株) 関東道路(株) 北島土建材(株) 小薬建設(株)	柴建設(株) 下條土建(株) 瀧田建設(株) 田口建設(株) 田中工務店(株)
たばやし建設(株) 玉造建設(株) 塚田造園建設(株) 仲川建設(株) 仁平工務店(株)	白田工建(株) 羽黒石材工業(株) 長谷川興業(株) 常陸建設(株) 平田建設(株)	古沢建設(株) 保安産業(株) 北條工業(株) ホシノ建設(株) 堀江産業(株)	(株)マルイ興業 ミドリ環境土木(株) 森建設(株) 大和土建(株) 吉江総業(株)

結果

市町村 単位：千円

坂東市

【6月24日】

- ① 委 4 国補橋りょう委託第1号、横断歩道橋補修設計業務委託(岩井)
- ② 委 総合体育館非常用照明改修工事実施設計業務委託(岩井)
- ③ 委 茨城県建設事務所、フケタ設計、若柳建築事務所、戸頃建築設計事務所、桂設計
- ④ 委 4 浄修繕第11号、岩井浄化センター1号、岩井浄化センター1号、岩井浄化センター1号、岩井浄化センター1号
- ⑤ 委 茨城県建設事務所、フケタ設計、若柳建築事務所、戸頃建築設計事務所、桂設計
- ⑥ 委 4 道維持委託第4号、除雪業務委託(岩井)
- ⑦ 委 4 道維持委託第6号、除雪業務委託(岩井)
- ⑧ 委 4 道維持委託第10号、除雪業務委託(岩井)
- ⑨ 委 4 道維持委託第12号、除雪業務委託(岩井)
- ⑩ 委 4 道維持委託第14号、除雪業務委託(岩井)

市町村

① 委 R4建設第4号、配水管渠施設設計業務委託(市内)

② 委 吉沢水道コンサルタント

③ 委 富洋設計、中日本建設コンサルタンツ、吉沢水道コンサルタンツ、オリジナル設計、東洋設計事務所

④ 委 坂東市高齢者福祉計画(第9期計画)策定業務委託(市役所保健福祉部)

⑤ 委 アイールエス

⑥ 委 サイベリサイチセンター、アイールエス、Next-i、アイールエス

⑦ 委 第2次はせら健康プラン21中間評価業務委託(市役所健康づくり推進課)

⑧ 委 まち研

⑨ 委 アイールエス

⑩ 委 環境総合研究所、ぎょうせい、まち研、アイールエス

その他

① 委 4 国補第66号、中造園土木

② 委 4 道維持委託第1号、中造園土木

③ 委 4 道維持委託第2号、中造園土木

④ 委 4 道維持委託第3号、中造園土木

⑤ 委 4 道維持委託第4号、中造園土木

⑥ 委 4 道維持委託第5号、中造園土木

⑦ 委 4 道維持委託第6号、中造園土木

⑧ 委 4 道維持委託第7号、中造園土木

⑨ 委 4 道維持委託第8号、中造園土木

⑩ 委 4 道維持委託第9号、中造園土木

取手広域下水

① 委 4 国補第66号、中造園土木

② 委 4 道維持委託第1号、中造園土木

③ 委 4 道維持委託第2号、中造園土木

④ 委 4 道維持委託第3号、中造園土木

⑤ 委 4 道維持委託第4号、中造園土木

⑥ 委 4 道維持委託第5号、中造園土木

⑦ 委 4 道維持委託第6号、中造園土木

⑧ 委 4 道維持委託第7号、中造園土木

⑨ 委 4 道維持委託第8号、中造園土木

⑩ 委 4 道維持委託第9号、中造園土木

千葉県銚子市

① 委 春日小学校管理棟・普通特別教室棟統合大規模改造電気設備工事(事後審査型一般競争) (事後2021)

② 委 春日小学校管理棟・普通特別教室棟統合大規模改造電気設備工事(事後審査型一般競争) (事後2022)

日成ビル工業

① 委 日成ビル工業

② 委 日成ビル工業

③ 委 日成ビル工業

④ 委 日成ビル工業

⑤ 委 日成ビル工業

⑥ 委 日成ビル工業

⑦ 委 日成ビル工業

⑧ 委 日成ビル工業

⑨ 委 日成ビル工業

⑩ 委 日成ビル工業

茨城県建設事業計画書

県、市町村、関係団体の2022年度当初予算から公共事業をみれなく掲載。 ※広告掲載企業は1冊無料となります

2022年度版 発売中!

価格:27,500円(税込) 振込先 常陽銀行本店 普通0055576 申し込みはこちら... Tel/029-301-1055 Fax/029-301-1066

日本工業経済新聞社 水戸支局 茨城県水戸市笠原町978-25茨城県開発公社ビル内

社名	担当者名	Tel
住所		Fax

「茨城県事業計画書」2022年度版を申し込みます。